

仙台市文化財調査報告書第189集

年 報 15

平成 5 年 度



大野田遺跡出土土偶

平成 6 年 3 月

仙 台 市 教 育 委 員 会

年報 15

平成 5 年度



大野田遺跡出土土偶

平成 6 年 3 月

仙台市教育委員会

序 文

日々ぐるしい軒の変化を経ながら、わが仙台市は近年目覚ましい発展をとげ、21世紀に向けて大きく飛躍の道を歩んでいることは、市民一人一人の誇りでもあり、市政に携わっているものとして大変喜ばしいかぎりです。

将来の都市像として「都市と自然が調和する杜の都」を掲げ、「歴史と伝統に培われた風土を大切にすること」を基本的な視点の一つとしておりますが、この歴史と伝統こそ文化財の本質であります。教育委員会では、市内にのこる貴重な文化財を保護し、後世に伝えるとともに、市民生活の中で親しんで頂けるよう、様々な角度から事業の推進に取り組んで参りました。

保護管理事業では、今回新たに考古資料、建造物、歴史資料の中から5件を市文化財として指定いたしました。普及啓発事業では、市政施行八十八周年記念事業として昭和52年度から実施してきた由緒ある町名・通名の辻標設置が今年度の5基をもって88基すべて完了し、あわせてパンフレット「辻標」も刊行いたしました。街角で気軽に親しんで頂ける文化財として多くの市民の皆様にご活用いただけるものと確信しております。他にも文化財めぐり、文化財講演会、文化財展、民俗芸能のつどい等、多彩な市民参加行事を実施し、いずれもご好評頂きましたことは主催者として喜びに堪えません。埋蔵文化財の発掘調査事業につきましては多くの皆様のご協力とご支援を頂きながら27件の野外調査・室内整理を行って参りました。大野田遺跡での縄文時代のストーンサークルや大量の土偶の発見、中在家南遺跡や高田B遺跡での弥生時代の木製農耕具の大量発見等、学会でも話題をよぶ大きな成果を得た調査も含まれております。また、昭和63年の調査・発見以来、注目を集めてまいりました富沢遺跡の旧石器時代遺構群につきましては「原始古代村・旧石器の森整備事業」として実施設計が完了し、(仮称)富沢遺跡保存館として平成6年度着工、水河期の森広場も含め、平成8年度オープンの予定で進められることとなっております。

今後とも文化財保護行政に対しまして、市民の皆様のご支援とご助言を賜りますようお願い申し上げ、刊行のご挨拶といたします。

平成6年3月

仙台市教育委員会

教育長 東海林 恒英

目 次

序 文
目 次
例 言

I 文化財の保護管理	1
II 文化財の普及啓発	5
III 埋蔵文化財の調査	10
IV 指定文化財一覧	28

職 員 錄

仙台市文化財調査報告書刊行目録

例 言

1. 本書は仙台市教育委員会社会教育部文化財課が、平成5年度に実施した保護管理・普及啓発・埋蔵文化財調査の各事業に関する年度報告書である。
2. 本書の地形図は、建設省土地理院発行五万分の1「仙台」を使用した。
3. 執筆は各担当が行い、編集は全員の協力のもとに木村浩二が行った。

I 文化財の保護管理

(1) 文化財の指定

仙台市教育委員会は、平成6年2月に仙台市文化財保護委員会に市指定の文化財について諮問し、その答申を受けて、平成6年3月29日付で次の有形文化財5件を新たに指定した。

① 有形文化財（考古資料）

皮袋形土器 1箇 繩文時代
上ノ原遺跡出土

上ノ原遺跡は、太白区秋保町字上ノ原に所在する。この土器は、皮袋形をした特異な形を持ち、異形土器として貴重なものである。粘土紐を渦巻や蔓状に貼りつけた縄文時代中期の特徴的な文様の精巧な作りである。

② 有形文化財（考古資料）

伊古田遺跡出土土偶 4箇 縄文時代

伊古田遺跡は、太白区大野田の名取川により形成された自然堤防上に立地する。昭和58年地下鉄宮沢駅建設工事に伴い調査が行われ、縄文時代後期から平安時代までの集落跡が発見された。この土偶は、縄文時代後期の遺物包含層から出土し、ほぼ完形に近く接合できたものである。いかり肩の胴長で、顔面が前方に突出し仮面状に表現されているものが3箇と、うずくまっている姿のものが1箇で、最も大型のものは、宮城県内で最大の大きさである。この土偶は、縄文時代後期の土偶の地域性を示す重要なものである。

③ 有形文化財（考古資料）

戸ノ内遺跡方形周溝墓出土土器 2箇 古墳時代

戸ノ内遺跡は、太白区四郎丸字戸ノ内の名取川により形成された自然堤防上に立地する。昭和58年、宅地造成に伴う調査が行われ、弥生時代から中世に及ぶ遺構や遺物が確認され、古墳時代では、住居跡と方形周溝墓が発見された。方形周溝墓は、東西約26m、南北約24.5m、溝幅約3.5m～6mで中央部に台状部が形成された宮城県最大の規模である。

周溝壁面に据えられて出土した土器は、二重口縁の大型土師器壺で、籠目の痕跡が残る極めて珍しいものである。他の一つは、溝底面から出土した複合口縁の土師器壺で、円形の浮文が施されている。

この土器は、戸ノ内遺跡方形周溝墓の出土品を代表し、出土した状態とともにその資料的価値の高いものである。

④ 有形文化財（建造物）

石垣家住宅 1棟 江戸時代
附 土蔵（米蔵）1棟

石垣家は、青葉区上愛子字赤生木に所在し、安永3年（1774）の「風土記御用書出」の「代

「數有之御百姓書出」に代々上愛子村の「組頭並びに御山守」を務めたと記されている。石垣家住宅は、木造平家建、寄棟造の茅葺屋根で、桁行12間、梁間6間である。田の字形の四間の居宅部の上手に二座敷を加えた整形六間取りで、座敷と居宅部では技法や様式を異にし、外観的にも異なる。座敷の他にもう一つ居宅部の「でい」にも「とこのま」を持つ。土間に上屋柱を建てるのを省略するために「ひうち梁」「二重ひうち梁」を用いて構造的に安定させているが、この技法は、外見的に優れ、近世中期以降の仙台地方の民家の架構的特色である。建築年代は、建築技法などから19世紀初め頃と推定される。石垣家に伝えられているところでは、昔火災のため米蔵だけが焼け残り、現在の本屋棟はその時に立て直したもので、毎年旧暦11月17日には再び火を出さないように「焼け弔い」の行事を行っているとのことである。また、石垣家の天明3年（1783）から明治22年までの暦に備忘録的な書き込み「曆面裡書」があり文政5年（1822）のところに「十二月十七日夜孫右衛門出火、漸蔵計残」とあり、現在の本屋棟がこの火災後の建築とすれば、築後約170年といえよう。

附とした土蔵は、桁行4間、梁間2間、切妻造、妻入の土蔵造で、本屋棟よりも古いものと伝えられている。

石垣家住宅は、改修が少なく、創建当初の姿をよく残し、保存状態がよい。

このたび、仙台市に寄贈され、解体保管しているが、将来復元の予定である。

⑤ 有形文化財（歴史資料）

源不動尊文永十年板碑 1基 鎌倉時代

この板碑は、昭和11年に源町で確認されて以来、町内会により保存管理されてきたもので平成4年、源不動尊の参道が整備された時に源不動尊前に設置されたものである。

板碑の材質は、粘板岩で高さ175cm、幅31cmである。阿弥陀三尊を表した種子や天蓋が刻まれ、美術的に優れている。偈や造立題旨などの形式も整い、銘文から「兵衛太郎」の極楽往生を願って文永十年（1273年）に建てられたことが知られ、仙台地方で最も古い時期の板碑であり、仏教信仰の状況を示す歴史資料となっている。



皮袋形土器 上／原遺跡出土



戸／内遺跡方形周溝墓出土土器



左：伊古田遺跡出土土偶
右：源不動尊文永十年板碑

(2) 仙台市文化財保護委員会

平成5年度は、仙台市文化財保護委員会の定例会を6回開催した。

日 程	議 題
4月6日	(1) 平成4年度文化財実施事業について (2) 平成5年度文化財事業計画について
6月8日	(1) 仙台市指定有形文化財（考古資料）の指定候補の選定方針について (2) 文化財の登録制度の検討について
8月10日	(1) 仙台市登録文化財（案）について
10月12日	文化財現地視察 ① 藏王町我妻家住宅 ② 白石城跡 ③ 白石市旧小関家住宅
12月14日	(1) 仙台市指定文化財候補について
2月8日	(1) 仙台市指定有形文化財の指定について（諮問） (2) 平成5年度発掘調査報告

(3) 補助事業

① 陸奥国分寺跡及び陸奥国分尼寺跡買上

史跡の保護活用を図るため、陸奥国分寺跡地内の土地1件（547.54m²）、陸奥国分尼寺跡地内の土地1件（165.56m²）を公有化した。

② 有形文化財補助

指定文化財の保存修理のため次の事業に対して補助を実施した。

・大崎八幡神社本殿ほか防災施設事業（3ヵ年計画の3年目）

・大崎八幡神社管理事業（社殿漆塗修理、防災設備保守点検）

・東照宮管理事業（透彫漆塗修理、防災設備保守点検）

・陸奥国分寺樂師堂管理事業（防災設備保守点検）

・莊嚴寺山門解体修理事業

③ 無形文化財補助

伝統的な工芸技術である宮城県指定無形文化財「精好仙台平技術」の保持事業に対し補助を実施した。

④ 無形民俗文化財補助

民俗芸能の後継者養成等の保持事業及び大道具製作補修事業に対し補助を実施した。

・民俗芸能保持事業補助

秋保（湯元、長袋、馬場）の田植踊、大崎八幡神社の能神楽、愛子の田植踊、大倉の役人田植踊、新川の田植踊、芋沢の田植踊、下倉の田植踊、川前の鹿踊・剣舞、野口の鹿踊、滝原の顕拌、福岡の鹿踊・剣舞、馬場愛宕神社神楽、上谷刈の鹿踊・剣舞、大沢の田植踊、柳流青麻神楽、生出森八幡神楽 18団体

・大道具等製作補修補助

滝原の顕拌、上谷刈の鹿踊・剣舞

(4) 文化財の管理

① 史跡等の維持管理

進見塚古墳、陸奥国分寺跡、山田上ノ台遺跡、富沢遺跡、三沢初子の墓など、松森焰硝蔵跡等について、定期的に除草清掃を実施した。

② 史跡等の現状変更

現状変更の内容としては、陸奥国分寺跡の道路改修、照明灯の新設、経ヶ峯伊達家墓所の排水施設整備、地下埋設物調査、特別天然記念物カモシカの減少12件などであった。

③ 文化財防火デー

第40回文化財防火デーに際し、1月26日を中心に仙台市消防局と連携して、管轄消防署

による指定建造物の特別査察や、地域住民等の協力を得て、防災訓練等を実施した。

(4) 伝統工芸新作展

地域の伝統工芸作家の保護育成のため、伝統工芸新作展を宮城県教育委員会等と共に催した。

(5) 文化財の調査

青葉区内の文化財分布調査を実施し、青葉区文化財分布地図を発行した。

II 文化財の普及啓発

市民の文化財に対する理解と認識を深め、文化財保護思想の啓発を図るため次の事業を実施した。

(1) 説明板、標柱の設置

説明板	名 称	種別	設 置 場 所
	法徳塚古墳	再建	若林区一本杉町1
	梵鐘	再建	太白区向山4丁目4-1
	善光寺開山堂	再建	宮城野区燕沢2丁目3-1
	大願寺山門	再建	青葉区新坂町7-1
	護不動尊文永十年板碑	新設	青葉区広瀬町8-1
標 柱	神明社廻跡	再建	宮城野区折江9

(2) 住標の設置

市制施行八十八周年記念事業として、昭和52年度から由緒ある町名・通名の住標を設置してきたが、今年度設置の5基を合わせて88基全部を設置し、事業完了となった。

設置町名・通名	設 置 場 所
小田原牛小屋丁／小田原弓ノ町	宮城野区小田原2-1-25地先
半子町／伊勢堂下	青葉区子平町3-25 子平町郵便局前
宮町／宝蔵院	宮城野区宮町4-7-19地先
北八番丁／神子町	青葉区通町1-1 通町小学校内
小田原八丁	宮城野区小田原4-3-20 常盤木学園内

(3) 文化財パンフレット等の発行

- ① 「広報文化財」第46号、第47号、第48号 各13,000部

- ② 文化財パンフレット第33集 「よみがえる氷河期の富沢」 2,000部 ③ 文化財パンフレット第34集 「米作りをはじめた人々」 5,000部
 ④ 文化財パンフレット第35集 「辻櫻」 2,000部
 ⑤ 文化財パンフレット第28集 「仙台の遺跡」増刷 3,000部
 ⑥ 「甦る遺産 仙台城—現代複合図」増刷 3,000部

(4) 文化財めぐり

テーマ：「仙台平野の古墳をめぐる」 平成5年9月12日（土）

行 先：遠見塚古墳、法領塚古墳、雷神山古墳、熊野堂横穴群、名取大塚山古墳他
 講 師：氏家 和典氏 仙台市文化財保護委員会委員

(5) 第34回文化財講演会

テーマ：「天然記念物の保護」 平成5年11月13日（土） 仙台市博物館ホール

講 師：加藤 陸奥雄氏 仙台市文化財保護委員会委員長

(6) 第8回民俗芸能のつどい

—仙台の誇る無形民俗文化財— 平成6年3月12日 仙台市博物館ホール

出 演：芋沢の田植踊、生出森八幡神楽、上谷刈の施踊・剣舞、長袋の田植踊

解 説：千葉 雄市氏 宮城県文化財保護審議会委員

民俗芸能の記録保存のため、「第8回民俗芸能のつどい」のビデオ撮影を実施した。



文化財めぐり



第34回 文化財講演会

(7) 親子縄文体験

通産8回目を迎えた今年度の親子縄文体験は、7月10日（土）と8月7日（土）の2日間にわたり、富沢整理事務所を会場として実施された。市内の小学6年生の親子を対象に募集したところ、38組の申し込みがあり、会場等の都合から厳正なる抽選によって22組の親子に参加していただいた。参加者には、事前にテキスト・土器設計資料・しおり等を郵送して当日に備えていただき、また、抽選にもれた方々にもテキストを送付して各家庭で試していただけるよう配慮した。

第1日目は全日使って「縄文土器づくり」、第2日目は午後半日を「土器焼きと縄文食体験」という内容で実施した。土器づくりは、親子で3kgの粘土を使用し、午前中を土器の成形にあて、午後は土器の表面に文様を施した。親子で協力しながら1個の土器を作る組とそれぞれ1個ずつ作る組とあったが、どれも個性的な現代の「縄文土器」が現われた。その後、それらを約1ヵ月乾燥させ、第2日目の午後に野焼きによって焼成した。結果は、昨年度よりは割れたものは少なかったが、「生焼け状態」のものが少しあった。当日は、午前中から小雨の混じるあいにくの空模様で、決行・延期の判断も微妙な状況にあったため、火力を必要以上に上げないようにしたことが要因と思われる。

また、野焼きの合間に繰り返して実施した「縄文食体験」は参加者を5グループに分け、炉作り・まいぎり法による火おこし・鳥の蒸し焼き・復元した縄文土器を使った縄文鍋料理にチャレンジしてもらった。早々と鍋が出来て試食するグループや、お湯がなかなか沸かずてこずるグループが出たりとまちまちであったが、皆しばしの間、縄文人の気分に浸っていた。

2日間という限られた時間の枠の中ではあったが、参加者はこれらの体験で、縄文人たちの知恵に驚き、同時に親子の絆を再認識したことであろう。



親子縄文体験：土器づくり



親子縄文体験：土器野焼き

(8) 第19回文化財展－弥生時代展－

「米づくりをはじめた人々」をテーマに、第19回文化財展－弥生時代展－を12月11日（土）～12月15日（水）の5日間、東北電力グリーンプラザを会場として開催した。開催初日には、文化財展記念講演会の講師である佐原真氏（国立歴史民俗博物館副館長）や大石直正氏（東北学院大学教授）らも会場を訪れ、短期間ながら、期間中約1,600名の市民が熱心に展示物に見入っていた。

今回の展示は、できるだけ多くの遺物に接してもらい、弥生時代のイメージをつかんでもらうことを主眼として、弥生時代の農村風景を復元した写真パネルのコーナー、木製農具と近世から昭和初期の稻作風景を比較したコーナー、各遺物の展示コーナー、弥生土器露出現

示のコーナー、さまざまな米の比較コーナー、VTRの放映コーナーなどに分けて弥生時代とその米づくりの様子を紹介した。

展示遺物については、中在家南遺跡や高田B遺跡を中心に、市内の最新の出土資料を展示することに努めたが、弥生土器の一部は東北大学文学部からの借用を受けた。弥生土器露出展示の53点や木製品12点をはじめとして、約200点が展示スペースをうめた。パネル展示では、弥生時代の農村風景を復元した写真については、大阪府弥生文化博物館に展示されている模型を撮影したネガの提供を受けた。また、近世～昭和初期にかけての稻作の写真については、加藤治郎氏（東北農業技術史調査所長）からの協力によって展示が実現した。どの展示も、弥生時代の雰囲気をよく伝えていたと思われるが、もう少し体験的要素を盛り込んだコーナーがあればと反省される。なお、訪れた方々には仙台市文化財パンフレット第34集「米づくりをはじめた人々」を配布した。



第19回文化財展：土器露出展示



第19回文化財展：ビデオ放映コーナー

(9) 文化財展記念講演会

12月11日(土)午後1時30分から3時30分まで141ビル5階エルバーク仙台セミナーホールにて、国立歴史民俗博物館副館長の佐原真氏を講師に招き「弥生時代と現代」と題して講演会を開催した。会場は200名を超える市民であふれ、熱気のこもった感動的な講演に聴衆からの拍手なりやまず、大好評であった。



文化財展記念講演会



文化財展記念講演会

⑩ 第20回文化財展－発掘この一年－

3月23日（水）～30日（水）の8日間、青葉地下道ギャラリー（青葉通り×東二番丁通り地下道）において第20回文化財展－発掘この一年－を開催した。昨年度まで各区役所を巡回して行なっていた年度末展であるが、会場については、5区を一巡し終えたことと新しい会場を開拓するという意味で、今年度になって探った末に決定した会場である。今回は、今年度実施した市内の遺跡発掘調査の成果や普及啓発事業について、写真パネルを主体に紹介した。会場や諸般の事情で遺物やビデオ上映が不可能なことや、リーフレットも配置できないなどの制約があって小規模な展示にならざるを得なかったが、展示のある方向性を模索する上でのテストケースとして位置づけられた感がある。

⑪ 遺跡見学会・発掘体験学習

遺跡の発掘調査現場を見学してもらう遺跡見学会や、実際に発掘調査を体験してもらう発掘体験学習を、学校、市民センター等を対象に実施した。

遺跡見学会	5月13日	富沢遺跡	長町南小学校社会学級
	7月15日	高田B遺跡	六郷市民センター
	9月10日	高田B遺跡	八木山小学校
	9月16日	大野田・元袋遺跡	鹿野小学校
	10月19日	郡山遺跡	仙台歴訪会
	11月5日	郡山遺跡	只ヶ森市民センター
	11月22日	大野田遺跡	富沢中学校
発掘体験学習	9月17日	大野田遺跡	長町南小学校

⑫ 記者発表・現地説明会

発掘調査成果の公開を、報道各社を対象に行う記者発表や市民対象に行う現地説明会を以下のとおり実施した。

北口城跡	記者発表	7月22日	現地説明会	7月24日
高田B遺跡	〃	7月29日	〃	7月31日
中在家南遺跡	〃	10月14日	〃	7月16日
洞ノ口遺跡	〃	10月20日	〃	10月23日
大野田遺跡	〃	11月17日		
郡山遺跡	〃	11月25日	〃	11月27日

III 埋蔵文化財

1. 調査一覧

国庫補助事業としては郡山遺跡・仙台平野の遺跡群として燕沢遺跡の発掘調査を実施した。

受託事業としては富沢遺跡2件、元袋遺跡2件、高田A遺跡、高田B遺跡、洞ノ口遺跡、今泉遺跡、南小泉遺跡の計9件を調査した。

自主事業としては大野田遺跡、元袋遺跡、中在家南遺跡、北口城跡、東郊条里遺構、高田B遺跡の計6件を調査した。

他に整理作業及び報告書刊行として7件ある。

平成5年度文化財課調査事業一覧

遺跡名	所在地	調査事由	調査期間	調査面積	内 容	調査担当
郡 山 遺 跡	太白区郡山	国庫補助14年	7/12~12/17	530m ²	飛鳥~奈良 官衙・寺院跡	長島・熊谷
仙 台 平 野 の 遺 跡 群	宮城野川・燕沢	国庫補助13年	6/1~7/8	400m ²	奈良~近世 官衙跡?	長島・熊谷
大 野 田 遺 跡	太白区大野田	都市計画道路建設	4/12~3/25	5,000m ²	绳文~平安 祭祀・集落跡	小川・主張他5名
元 袋 遺 跡	太白区大野田	〃・共同住宅建設	4/12~10/21	2,000m ²	弥生~近世 水田・集落跡	斎野・川名他2名
中 在 家 南 遺 跡	若林区荒井	荒井上地区画整理	5/24~11/9	630m ²	弥生~江戸 河川	T.藤井・菅原
北 口 城 跡	太白区郡山	都市計画道路建設	4/12~12/15	3,800m ²	中世~江戸 城跡	金森・佐藤博・稻葉
東 郊 条 里 遺 構	若林区湯町	コミュニティセンター建設	4/12~5/19	300m ²	中世~ 水田跡	工藤鶴・菅原
高 田 B 遺 跡	若林区日向	仙台南道路建設	4/13~10/15	4,000m ²	绳文~江戸 水田・河川跡	工藤鶴・荒井他3名
洞 ノ 口 遺 跡	宮城野区岩切	岩切上地区画整理	4/12~12/20	4,550m ²	平安~近世 水田・城郭跡	佐藤鶴・平間・熊谷
今 泉 遺 跡	若林区今泉	宅地造成	6/7~8/12	150m ²	弥生~中世 集落・城郭跡	渡部鶴・竹田
富 沢 遺 跡	太白区長町	大型店舗等建設	4/12~10/28	1,030m ²	弥生~江戸 集落・水田跡	佐藤鶴・佐藤博
元 袋 遺 跡	太白区大野田	共同住宅建設	11/1~11/9	420m ²	古墳~中世 河川跡	五十嵐・用名
南 小 泉 遺 跡	若林区南小泉	宅地造成	9/13~9/22	40m ²	占墳 集落跡	藤原
高 田 A 遺 跡	若林区日向	宅地造成	4/8~4/20	111m ²	弥生~平安 河川跡	渡部鶴・竹田

(1) 郡山遺跡

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1. 調査地 仙台市太白区郡山6丁目地内他 | 4. 調査原因 遺跡範囲確認調査 |
| 2. 調査期間 平成5年7月12日～12月7日 | 住宅建築に伴う事前調査 |
| 3. 調査面積 530m ² | 5. 調査員 長島栄一、熊谷裕行 |

第3次5ヶ年計画の4年次にあたり、Ⅰ期官衙の南西城の遺構確認を目的として調査を計画した。また住宅建築に伴う事前調査を1件実施した。調査の結果、Ⅰ期官衙の南辺及び西辺を区画するとみられる材木列を2条、Ⅱ期官衙の材木列を3条・掘立柱建物跡2棟などを検出した。これにより、Ⅰ期官衙の南辺の幅が一時期はほぼ3町であることが確認された。



郡山遺跡



第100次調査区 S A 272材木列

(2) 燕沢遺跡－第7次調査－

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1. 調査地 仙台市宮城野区燕沢東3丁目地内 | 4. 調査原因 遺跡範囲確認調査 |
| 2. 調査期間 平成5年6月1日～7月8日 | 5. 調査員 長島栄一、熊谷裕行 |
| 3. 調査面積 400m ² | |

七北田丘陵の東端に位置する遺跡である。7次調査地は丘陵のはば頂上部に位置し、標高は約32mである。調査の結果、古代の溝跡5条・掘立柱建物跡1棟・堅穴住居跡1軒、近世の土坑1基、ピット等を検出した。土坑からは、重弧文軒平瓦・均整唐草文軒平瓦・細弁蓮華文軒丸瓦などの破片が多数出土した。また溝跡は、土地の区割りに伴う可能性も考えられる。



燕沢遺跡



土坑出土 重弧文軒平瓦

(3) 大野田遺跡

- | | |
|------------------------------|------------------|
| 1. 調査地 仙台市太白区大野田字袋東・袋前 | 4. 調査原因 都市計画道路建設 |
| 2. 調査期間 平成5年4月12日～平成6年3月25日 | 5. 調査員 主浜、小川、川名 |
| 3. 調査面積 約5,000m ² | 神成、竹田、赤澤、五十嵐 |

名取川の北方約1kmの自然堤防上に立地し、標高は約9m前後である。古代の堅穴住居跡などや、さらに下層からは縄文時代後期前半の遺物包含層・環状集石群・配石遺構・埋設土器・堅穴住居跡・ピット群・土坑群が検出されている。遺構からは、大量の土器・石器・骨角器などの日常生活用具の他に、祭祀に使用されたと考えられる土偶（約170点）・石刀・珍しい形の土器などの貴重な遺物（約1,000点）が出土している。平成6年度も継続調査の予定である。



大野田遺跡



環状集石群・配石遺構全景

(4) 元袋遺跡

- | | |
|------------------------------|---------------------|
| 1. 調査地 仙台市太白区大野田字元袋 | 4. 調査原因 道路建設・共同住宅建設 |
| 2. 調査期間 平成5年4月12日～10月21日 | 5. 調査員 斎野裕彦、竹田幸司 |
| 3. 調査面積 約2,000m ² | 川名秀一、小川淳一 |

名取川の支流、笊川の右岸の自然堤防上に立地する。都市計画道路、共同住宅建設に伴う調査の結果、弥生時代の水田跡・土坑、奈良～平安時代にかけての堅穴住宅跡・壇跡、中世の火葬跡・溝跡、近世の堀跡等が検出された。同時に中世から近世にかけての柱穴が約3000個検出されたことにより、数時期にわたって多くの掘立柱の建物が存在したと考えられる。



元袋遺跡

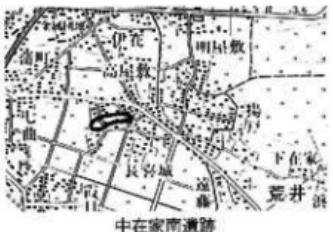


中近世の建物跡群全景

(5) 中在家南遺跡

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 1. 調査地 仙台市若林区荒井字中在家 | 4. 調査原因 区画整理事業（街路工事） |
| 2. 調査期間 平成5年5月24日～11月9日 | 5. 調査員 工藤哲司、菅原裕樹 |
| 3. 調査面積 630m ² | |

中在家南遺跡は、仙台市東部の標高5m前後の沖積平野に立地する。荒井土地区画整理事業に伴う調査の5年次日として、Ⅷ区・Ⅸ区の調査を実施した。両区は幅約20m・深さ3mの河川跡の北岸から中央にあたる。弥生時代中期の鍬・鋤等の木製品や土器・石器・骨角器・動植物遺存体が多量に出土した。東北地方の弥生文化研究の貴重な資料を得ることができた。



Ⅷ・Ⅸ区全景

(6) 北目城跡

- | | |
|------------------------------|------------------|
| 1. 調査地 仙台市太白区郡山字船ノ内～北目宅地地内 | 4. 調査原因 都市計画道路建設 |
| 2. 調査期間 平成4年4月14日～平成5年12月15日 | 5. 調査員 金森安孝、佐藤淳 |
| 3. 調査面積 約3,800m ² | 稻葉俊一 |

北目城跡は、仙台市街の南東部、広瀬川の自然堤防上に立地する。前年度からの調査の結果、17世紀前半代の「陣子堀」で囲まれた城館跡を検出し、漆器、陶磁器、刀剣などを出土した。下層調査でも、縄文時代後期後葉の住居跡2軒、土坑3基、弥生時代中期から古代にかけての水田跡、溝跡などを検出した。また、弥生時代以降の大規模な地震跡を示す噴砂も確認している。



Ⅱ区の陣子堀

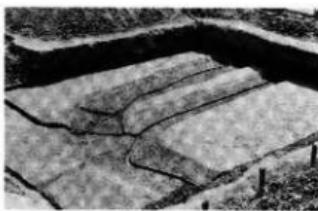
(7) 東郊条里跡

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. 調査地 仙台市若林区蒲町415ほか | 4. 調査原因 コミュニティーセンター建設 |
| 2. 調査期間 平成5年4月12日～5月19日 | 5. 調査員 工藤哲司、菅原裕樹 |
| 3. 調査面積 約300m ² | |

仙台東郊条里跡は、仙台市東部に広がる沖積平野の西端に位置している。明治期の地籍図及び航空写真等によって古代の条里型地割の存在が指摘されているところの一つである。調査の結果、近世以前の水田跡1面と条里区画の影響を少なからず受けたと考えられる中世の溝跡3条を発見したが、直接的に古代の条里プランに結び付くような遺構等は検出されなかった。



東郊条里跡



水田跡検出状況

(8) 高田B遺跡

- | | |
|---|--------------------|
| 1. 調査地 仙台市若林区日辺字千刈田37番地 | 5. 調査員 工藤、荒井、五十嵐 |
| 2. 調査期間 平成5年4月13日～10月15日 | 神成、赤澤 |
| 3. 調査面積 約8,800m ² （本年度約4,000m ² ） | 6. 備考 本調査3年次（最終年度） |
| 4. 調査原因 仙台南道路建設 | |

広瀬川と名取川の合流点の東、標高3m前後の後背湿地に立地している。今年度の調査では近世の水田跡・溝跡、中世の水田跡・畠跡？・溝跡、弥生時代の河川跡・遺物包含層・包含層下の遺構群が検出された。弥生時代から江戸時代にかけての遺物が出土し、特に河川跡から弥生時代中期中葉の樹形圓式期の土器、木製農具等が大量に出土した。



高田B遺跡



木製品出土状況

(9) 洞ノ口遺跡

- | | |
|------------------------------|------------------|
| 1. 調査地 仙台市宮城野区岩切字洞ノ口 | 4. 調査原因 土地区画整理事業 |
| 2. 調査期間 平成5年4月12日～12月20日 | 5. 調査員 佐藤 洋、平間亮輔 |
| 3. 調査面積 約4,550m ² | 熊谷裕行 |

昨年度に統いて遺跡の北～東側の低地と、中央部の微高地の調査を実施した。低地部分では平安時代前半～近世にかけて8期の水田跡を検出し、微高地部分では城館の北辺を構成する堀跡と土壘の他、溝跡等を検出した。城館の時期は15世紀後半～16世紀後半頃と推定されるが、他に、城館以前の中世と考えられる掘立柱建物跡、井戸跡、溝跡、土坑等も検出している。



洞ノ口遺跡



城館北辺の堀と土壘

(10) 今泉遺跡

- | | |
|----------------------------|------------------|
| 1. 調査地 仙台市若林区今泉字久保田87番地 | 4. 調査原因 宅地造成 |
| 2. 調査期間 平成5年6月7日～8月12日 | 5. 調査員 渡部弘美、竹田幸司 |
| 3. 調査面積 約150m ² | |

名取川北岸の標高3.5mほどの自然堤防に立地している。中世の土坑9基・井戸跡3基・溝跡17条・火葬遺構1基、平安時代の土坑1基・溝跡1条、古墳時代前期の土坑1基、弥生時代の埋設土器遺構1基などが検出されている。大半が中世の城館に伴う遺構である。古墳時代の土坑からは口縁部に棒状浮文が施されている朱塗りの大型の土師器壺が出土している。



今泉遺跡



調査区全景

(1) 富沢遺跡（第86・87次調査）

- | | |
|------------------------------|---------------------|
| 1. 調査地 仙台市太白区長町七丁目, 長町南一丁目 | 4. 調査原因 店舗建設 |
| 2. 調査期間 平成5年4月12日～10月28日 | 5. 調査員 佐藤甲二、佐藤 淳 |
| 3. 調査面積 約1,030m ² | 6. 備考 第86次は2カ年計画初年度 |

仙台市南西部、広瀬川と名取川支流荒川に挟まれた、標高10m前後の後背湿地を中心に立地する遺跡である。今年度は2地点で調査が実施され、ともに弥生時代以降の各時代の水田跡が調査された。第86次調査区は遺跡北側に位置し10数期の、第87次調査区は遺跡東側に位置し4期の水田跡が確認・検出されている。なお、第86次調査は次年度も継続される予定である。



富沢遺跡



第87次調査 9層水田跡（平安時代以前）

2. 試掘調査一覧

●は平成3年度・*は平成4年度届出・通知

No.	遺跡名	担当者	実施日	受付番号	結果	備考
1	沼遺跡	篠原	4/19・20	* 207	遺構・遺物なし	
2	日辺遺跡	結城	6/16	* 227	遺構・遺物なし	
3	貞山城	佐藤・篠原	5/24	* 236	遺構・遺物なし	
4	鶴巻I遺跡	結城	9/13	* 242	遺構・遺物なし	
5	四郎丸館跡	篠原	6/1	5	溝跡・土坑など	本調査
6	山田条里跡	渡部	8/25~10/26	23	疑似畦畔・土坑	
7	郡山遺跡	木村	6/15	29	遺構・遺物なし	
8	棟林B遺跡	篠原	7/5	44	遺構・遺物なし	隣接地
9	富沢上ノ台遺跡	篠原	7/8	38	遺構・遺物なし	
10	砂押II遺跡	篠原	9/10	54	遺構・遺物なし	
11	元袋遺跡	篠原	6/29・30	55	溝跡2条	本調査
12	沼向遺跡	篠原	7/27・29	● 125	溝跡2条、ピット	本調査
13	福田町遺跡	吉岡	7/5	● 42	遺構・遺物なし	
14	人来田C遺跡	結城	7/19	62	遺構・遺物なし	
15	南小泉遺跡	篠原	9/13	76	堅穴住居跡3軒 土師器、石製模造品	9/14~22 本調査
16	今泉遺跡	篠原	9/6	82	遺構・遺物なし	隣接地
17	仙台城跡	篠原	9/1	83	石垣の確認	本調査
18	境A遺跡	篠原	8/12	92	遺構・遺物なし	
19	南小泉遺跡	篠原	11/1	97	遺構・遺物なし	
20	栗遺跡	篠原	9/27	104	遺構・遺物なし	
21	南目城跡	結城	9/20	112	遺構・遺物なし	
22	仙台城跡	結城・篠原	10/5	115	井戸跡、礎石根石? 設計変更	
23	田子遺跡	篠原	11/16	148	遺構・遺物なし	
24	小鶴城跡	篠原	12/13・14	149	溝跡1条、土坑1基	
25	北目城跡	篠原	12/20~24	171	障子垢跡	
26	三神峯遺跡	篠原	1/10・11	150	堅穴住居跡?、土坑	建設場所変更
27	長町六丁目遺跡	篠原	1/17	173	遺構・遺物なし	
28	砂押I遺跡	篠原	1/24	191	遺構・遺物なし	
29	鳥井原遺跡	篠原	1/31	197	遺構・遺物なし	
30	鴻ノ巣遺跡	結城	3/9	182	遺構・遺物なし	
31	雷東遺跡	結城	2/16	209	遺構・遺物なし	
32	福田町遺跡	佐藤	2/9	215	遺構・遺物なし	
33	南目城跡	篠原	3/29	216	遺構・遺物なし	
34	沖野城跡	結城	3/12	230	現況確認	

3. 本調査報告

(1) 南小泉遺跡（第24次）

1. 調査地 仙台市若林区遠見塚一丁目

50-1, 50-2, 42-2

2. 調査期間 平成5年9月13日～22日

3. 調査面積 約40m²

4. 調査員 篠原信彦

5. 調査の概要

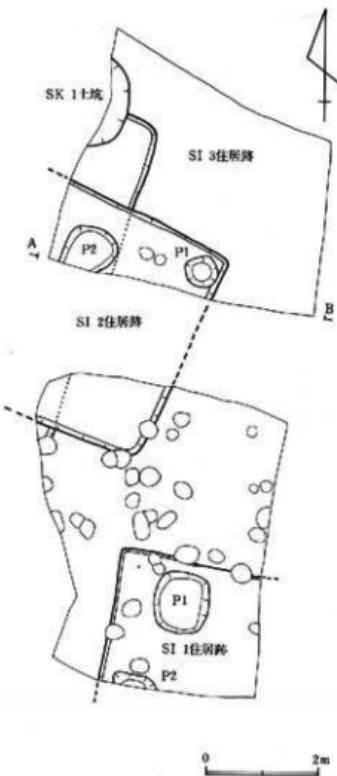
今回の調査は、個人の宅地造成に伴う発掘調査で、史跡遠見塚古墳の南西約280m離れた南小泉遺跡のはば中央部に位置している。

調査区は道路部分を対象に設定したが、北側は個人住宅の排水管や駐車等の制限があり、さらに中央部は水道管・排水管が横断しているため不整形の調査区となる。

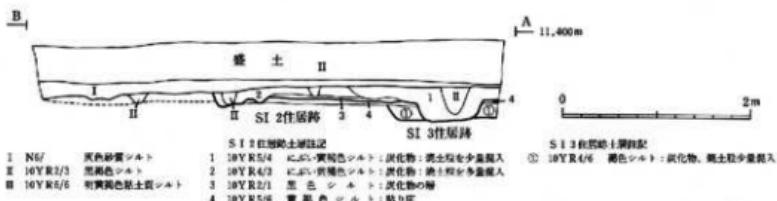
基本層は2層に分けられ、1層は畑の耕作土、2層は明黄褐色粘土質シルトの地山層である。遺構検出面は2層上面であり、すでに耕作によって削平されている。

調査によって発見された遺構は、堅穴住居跡3軒、土坑1基、ピット35個があり、堅穴住居跡はすべて調査区外へと延び、住居跡全体について不明である。

S I 1住居跡は調査区南端で検出され、南側と東側に延びている。平面形は方形を呈しており、残存する規模は東西2.5m、南北2.4mを計る。床面はほぼ平坦であるが、中央部がやや高くなっている。中央付近に一部貼床が検出された。北西コーナー付近に長軸1.1m、短軸1.0mの楕円長方形の貯蔵穴状ピット1個が検出されているだけで、カマド・周溝・柱穴等は検出されなかった。住居跡の堆積土から南小泉式の土師器片が少量出土している。



遺構配置図



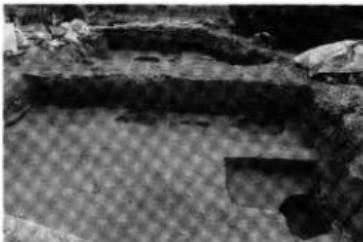
SI 2住居跡はSI 1住居跡の北側に近接して検出され、南北4.1m、東西3.1m以上で方形を呈している。SI 3住居跡と重複関係にあり、SI 3住居跡を切って構築されている。床面は平坦で非常に堅い黄褐色シルトの貼床であり、重複している部分の貼床は軟らかである。カマド・周溝・柱穴等は検出されず、北東コーナーと北側にピット2個が検出されているだけである。P1は直径60cmの円形で、深さは約16cmである。P2は長軸90cm以上、短軸90cmの橢円形を呈する土坑状のピットで、深さ約18cmを計る。このP2の堆積土中より石製模造品白玉1点が出土している。住居跡の堆積土・床面などから南小泉式の土師器壺・甕などが出土している。

SI 3住居跡はSI 2住居跡・SK1土坑に切られており、東辺が検出されたのみでほとんど調査区外に位置している。平面形は方形を呈するものと考えられ、残存する規模は南北6m、東西1.2m以上を計る。南東コーナー床面より南小泉式の土師器壺・高壺脚部の一括土器が出土している。

調査によって検出された堅穴住居跡は、南小泉式期の住居跡3軒であり、そのうち2軒の住居跡は重複している。



調査全景（南→北）



調査全景（北→南）



SI 2・3住居跡

(2) 元袋遺跡

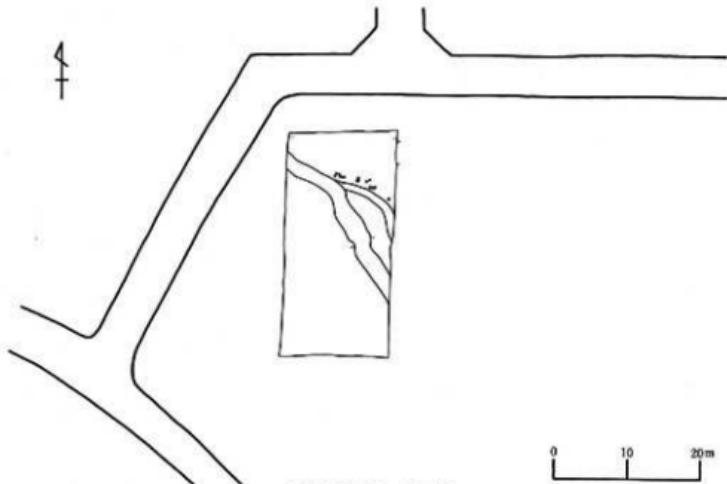
1. 調査地 仙台市太白区大野田字袋東14-1、16
2. 調査期間 平成5年6月29日・30日（試掘調査）、
11月1～9日（本調査）
3. 調査面積 314m²（試掘調査）、420m²（本調査）
4. 調査員 篠原信彦（試掘調査）、五十嵐康洋・
川名秀一（本調査）
5. 調査の概要

マンション建設に伴う発掘調査である。建設予定地内に5箇所の調査区を設定し試掘調査を実施した。その結果、河川跡、溝跡などが検出され、隣接する元袋II・III遺跡、大野田遺跡との関連から本調査をする事となった。本調査は河川跡・溝跡が検出された西側部分を対象として行った。

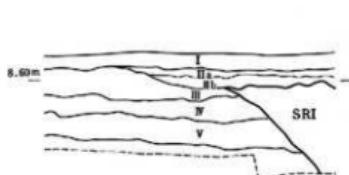
調査は14m×30mの調査区を設定し実施した。検出された遺構は河川跡1条・溝跡2条・埋設土器1基・ピット10数基である。

出土遺物は土師器・須恵器・赤焼土器・かわらけ・陶器などであるが、細片がおおく図示できたのは3点だけである。1は、土師器壺で埋設されていたものである。時期は、南小泉式期後半から住社式期頃と考えられる。

遺構の所属年代は、埋設土器以外に明確な時期を決定するような遺物がないので、古墳時代後期から中世にかけての時期であるとだけしておきたい。

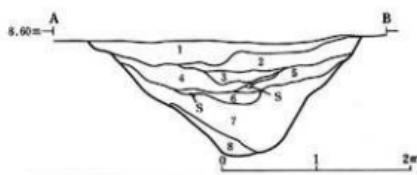


調査区位置図・平面図



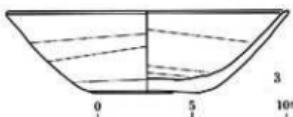
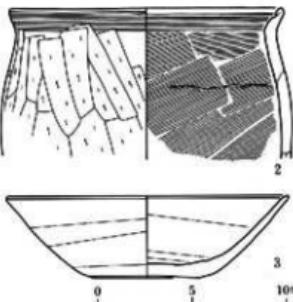
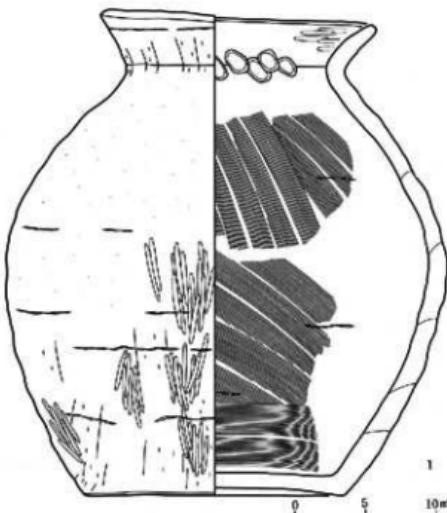
層名	色	厚	性質	備考
I	オリーブ褐色	2.5Y4/4	粘土	日本細耕作土
I-a	オリーブ褐色	2.5Y4/3	シルト	所々に炭化物を含む
I-b	緑褐色	10YR2/4	粘土	土砂片を含む
II	緑褐色	10YR2/3	粘土	炭化物・炭化物を含む
III	緑褐色	10YR3/4	粘土	管状の炭化鉄鉱
V	泥褐色	10YR5/6	粘土	点次の鉄化鉄鉱

東壁断面図

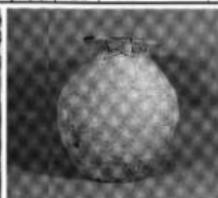


層名	色	厚	性質	備考
1	灰青褐色	10YR6/2	シルト	
2	灰青褐色	10YR4/2	シルト	
3	灰青褐色	10YR5/2	シルト	
4	灰青褐色	10YR5/2	シルト	
5	黄灰褐色	2.5Y6/1	シルト	上層より若干色調が暗い 10YR4/2シルトをブレンドにて含む
6	灰青褐色	10YR4/2	シルト	
7	灰青褐色	2.5Y5/2	シルト	動物遺跡を含む。グライ化
8	浅青褐色	2.5Y7/3	砂質シルト	グライ化

SD 1 断面図



番号	予算回数	種別	器種	造存度	口径	底径	器高	器皿測定・色調			備考
								外	内	底	
1		土器類	壺	出目定期	19.5	16.2	36.5	ヘラクスラ・イギリ	ミコナダ	黒色	外面に脚柱多数
2		土器類	壺	口徑・体高約1/3	14.5	—	(7.9)	ミコナダ・ケモリ	ミコナダ	—	
3		陶器類	杯	直徑・体高	15.0	5.5	4.5	ミコロ	ミコロ	—	



(3) 高田A遺跡

- 調査地 仙台市若林区日辺字高田21-1外
- 調査期間 平成4年12月16日(試掘)
平成5年4月8日～20日(本調査)
- 調査面積 93m²(試掘)・111m²(本調査)
- 調査員 木村浩二・荒井格・渡部紀(試掘)
渡部弘美・竹田幸司(本調査)

5. 調査の概要

高田A遺跡は標高5m前後の自然堤防上に位置する。奈良・平安時代の土器が散布する包含地として周知されていた。今回の調査地は遺跡のはば中央部分にあたる。調査は宅地造成工事に伴うもので、先立って道路敷部分の試掘を行った。その結果、河川跡・溝跡・土坑を確認し、各種の土器類が出土した。これらの結果を踏まえ、記録保存を目的とした当部分の本調査を実施するに至った。調査区は3×37mの南北のトレーンチを設定した。

確認遺構は河川跡1条・溝跡1条・土坑3基・ピット1基である。出土遺物には弥生土器・土師器・須恵器・瓦・石製品がある。基本層位として、1～10層の土壤を確認した。1層は畠地・水田で、3～9層は河川跡の堆積土となる。10層は今回調査での地山面となる。

S R 1 河川跡=調査区中央部で北西方向に延びる西辺肩部を6m程確認した。調査区内で対岸が確認されず幅は12m以上である。壁面は緩やかで最大深度は80cm程を計る。堆積土は細別で9層確認した。褐色系の粘土及び粘土質シルトであるが、最下層の9a層は粘土混じりの砂層となる。遺物は殆どが小破片で全容の判明するものは少ない。3層では土師器壺・壺・器台、須恵器壺・甕・壺、丸瓦が出土し、ロクロ使用の土師器が主体を占める。4・5層ではロクロ不使用の土師器のみが出土し、6層では土師器及び弥生土器片が出土している。7～9層では弥生土器片が出土し、7層では樹形圓式の甕が確認されている。

S D 1 溝跡=北西方向に直線的に延びる。確認長は約4.9mで、上端幅70cm、下端幅30cm、深さ25cmを計る。断面形は逆台形で、底面はほぼ平坦である。堆積土は3層確認した。遺物には土師器壺・器台・甕、須恵器甕、砥石がある。

S K 1 土坑=平面形は橢円形で、長軸54cm・短軸46cm・深さ13cmを計る。断面形は皿形である。堆積土は1層確認した。土師器の小破片が出土している。

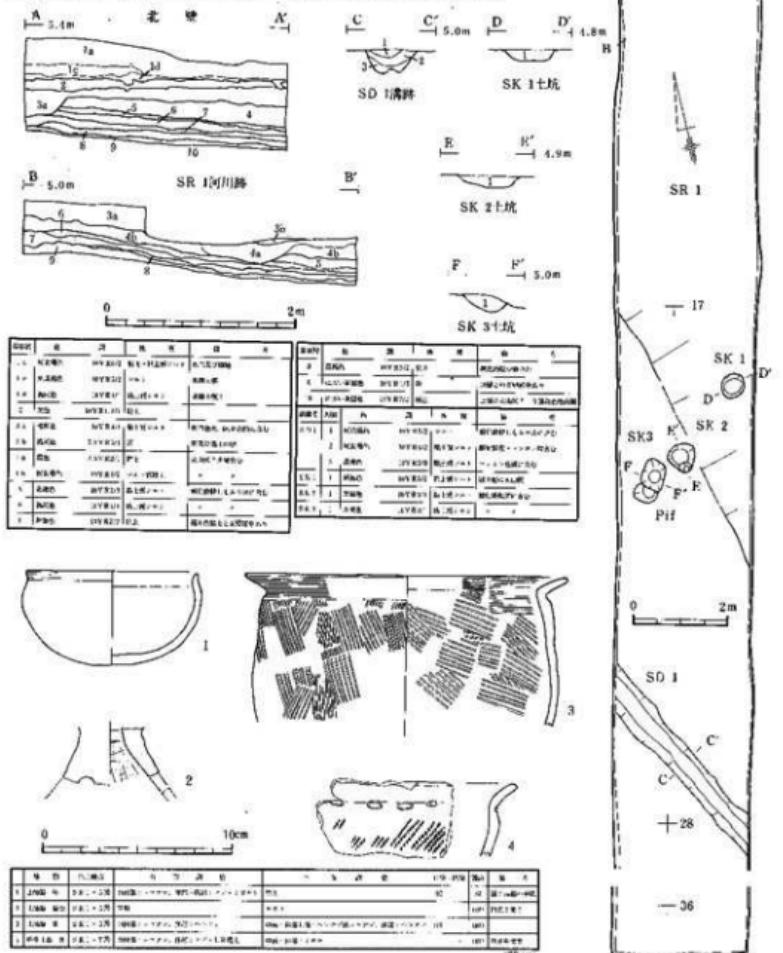
S K 2 土坑=平面形はやや歪んだ円形である。長軸61cm・短軸58cm・深さ12cmを計る。断面形は皿形である。堆積土は1層確認した。土師器の小破片が出土した。

S K 3 土坑=平面形は隅丸の方形で、長軸60cm・短軸48cm・深さ20cmを計る。断面形は底の丸い摺鉢形である。堆積土は1層確認した。土師器片が出土している。ピットを切っている。



6. まとめ

河川跡は現段階では弥生時代を起源とし平安時代灰白色火山灰降下頃に埋没したものと判断される。弥生時代から平安時代の遺物を多量に包含している可能性がつよい。溝跡及び土坑は出土遺物も少なく性格・時期が判然としないが古代に属するものと判断しておく。立地・出土遺物等からみて古代の集落の存在は十分に考えられる。



4. 遺跡の登録・範囲変更

平成5年度は1遺跡の新規登録と9遺跡の範囲拡大を行った。

(1)洞ノ口遺跡（仙台市文化財分布地図番号8）C-304

所在 仙台市宮城野区岩切字洞ノ口

概要 仙台市岩切土地区画整理に伴う発掘調査により、平安時代～近世までの水田跡や中世城館の堀跡・土塁や建物跡が発見され、遺構は周辺にさらに広がっている。



(2)仙台城跡〔二の丸地区〕（仙台市文化財分布地図番号29・30・41・42）C-501

所在 仙台市青葉区川内

概要 東北大学の構内にあたり、東北大学埋蔵文化財調査室の発掘調査により、二の丸門連の遺構群が北に広がっていることが確認されたことから遺跡範囲を北側に拡大した。



(3)比丘尼塚古墳

(仙台市文化財分布地図番号21)

C-053

所在 仙台市宮城野区燕沢三丁目

概要 周辺地区の分布調査により墳丘とみられる塚が確認された。直径10m程の円墳で古墳時代後期のもと考えられる。



(4)南小泉遺跡（仙台市文化財分布地図番号58） C-102

所在 仙台市若林区南小泉三丁目

概要 住宅建築の事前調査により遺跡西側で堅穴住居跡等が発見されたことから、遺跡範囲を西側に若干拡大した。

(5)蛇塚古墳（仙台市文化財分布地図番号58） C-056

所在 仙台市若林区南小泉一丁目

概要 近世の絵図面に記載されている蛇塚の位置が、現況地図上で特定できたことから、現況では墳丘が削りとられているが、新規登録を行った。



(6)町田遺跡（仙台市文化財分布地図番号66）C-255

所在 仙台市太白区茂庭字町北

概要 国道建設及び郵便局建築に伴う事前調査により、縄文・平安・江戸時代の遺構群や遺物が発見されたことから、遺跡範囲を北東側に拡大した。



(7)大野田遺跡（仙台市文化財分布地図番号82）C-112

所在 仙台市太白区

大野田字袋東、袋前

概要 市道建設に伴う事前調査により、縄文時代から中世の遺構群とともに遺物が多量に発見されたことから北側に範囲を拡大した。

(8)元袋遺跡

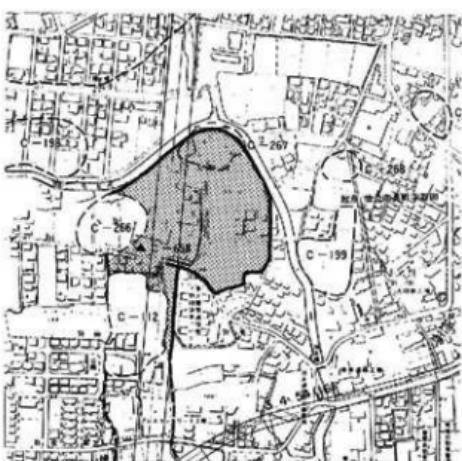
（仙台市文化財分布地図番号70・82）

C-286

所在 仙台市太白区

大野田字元袋、袋東

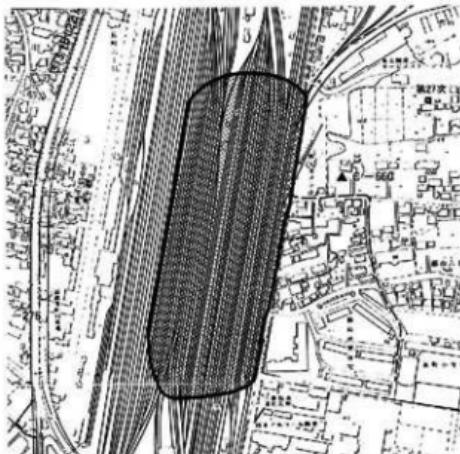
概要 市道建設及び共同住宅建築工事に伴う事前調査により、縄文時代から中世の遺構群とともに遺物が多量に発見されたことから東側に範囲を拡大した。



(9)長町駅東遺跡（仙台市文化財分布地図番号70・82）C-317

所在 仙台市太白区長町六丁目

概要 郡山遺跡関連調査として長町駅構内の遺構確認調査を行ったところ、郡山遺跡と同時期の建物跡や遺物が発見されたことから、新規遺跡として登録した。



(10)北目城跡

（仙台市文化財分布地図番号70・71）

C-505

所在 仙台市太白区郡山字北目宅地

概要 市道建設に伴う事前調査により、城に関連する遺構・遺物が発見されましたことから、遺跡範囲を南側に拡大した。



5. 原始古代村・旧石器の森整備事業

富沢遺跡の発掘調査で発見された2万年前の旧石器時代の生活跡や森林跡をそのままの状態で保存公開するため、（仮称）富沢遺跡保存館建設と氷河期の森広場の整備を行うもので、平成5年度は、保存館建築工事・展示工事・保存処理システム開発・氷河期の森広場整備工事の実施設計を行った。

IV 指定文化財一覧

1 《国指定文化財》

番号	名 称	員数	所 在 地	所有者(管理者)	指定年月日
有形文化財／建造物					
1 国宝	大崎八幡神社社殿 附 檜札1枚	1棟	青葉区八幡四丁目6-1	大崎八幡神社	S27.11.22 (M36. 4.15)
2	大崎八幡神社社長床	1枚	青葉区八幡四丁目6-1	大崎八幡神社	S41. 6.11
3	陸奥國分寺薬師堂 附 腹子1基 檜札1枚	1棟	若林区木ノ下三丁目8-1	陸奥國分寺	M36. 4.15
4	東照宮 本殿 店門 透構 附身門 鳥居 附 扇子1基 右灯籠34基 檜札1枚	5棟	青葉区東照宮一丁目6-1	東照宮	S28. 3.31 (S55. 1.25)
有形文化財／彫刻					
5	木造乳頭迦米立像	1像	青葉区八幡四丁目8-32	觀音寺	M36. 4. 1
有形文化財／工芸品					
6	太刀	1口	青葉区川内魚町62	龜岡八幡神社	T 3. 4. 1
7	白長覆輪太刀	1口	青葉区台原四丁目8-15	杉山喜恵子	S14. 5.27
8	小紋象頭像	1頭	青葉区川内二の丸跡	仙台市	S53. 6.15
9	墨漆五枚胴具足 完・小貝足付 (伊達政宗所用) 附 黒墨地沙絞織腰帯山形文陣羽織 1領 旗 1旗	1領	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S54. 6. 6
10	銀伊予札白糸威胸具足 完・小貝足付	1領	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S34. 6. 6
11	帶 (三武初子所用) 附 細綾子袋2枚 入目記 (正徳2年4月) 1通	12条	青葉区川内三の丸跡	仙台市	H 3. 6.21
有形文化財／書籍					
12 国宝	類聚圖史卷第一至五	1巻	青葉区川内1-1	図(東北大)	S27.11.22
13 国宝	史記 (孝文本紀卷十)	1巻	青葉区川内1-1	図(東北大)	S27.11.22
有形文化財／考古資料					
14	鐵輪式腰甲子半身像	1幅	青葉区台原四丁目8-16	杉山喜恵子	S15. 5. 3
15	埴輪甲	2箇	青葉区片平二丁目1-1	図(東北大)	S34. 6.27
	埴輪家残闕	1箇			
	埴輪円筒	1箇			
16	硬土製有孔玉器	1枚	青葉区台原四丁目8-16	杉山喜恵子	S37. 2. 2
17	瘦前国沼津貝塚出土品	一括	青葉区片平二丁目1-1	図(東北大)	S38. 7. 1
18	硬土製陶製石斧	1箇	青葉区台原四丁目8-16	杉山喜恵子	S48. 6. 6
有形文化財／歴史資料					
19	慶長造歐式鉄閣関係資料	一括	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S53. 3.24 (S41. 6.11)
20	坤輿方圖全國(原本) 附 坤輿方圖全國(著色)	6幅	宮城野区横ヶ岡5	宮城野(図書館)	H 2. 6.29
無形民俗文化財					
21	秋保の田植歌		太白区秋保町南光 太白区秋保町長浜 太白区秋保町高橋	蔚光の田植歌保存会 長浜の田植歌保存会 馬場の田植歌保存会	S51. 5. 4
記念物/史跡					
22	津美園分寺跡		若林区木ノ下二丁目、二丁目	仙台市	T11.10.12
23	津美園分寺尼寺跡		若林区白井町	仙台市	S23.12.18
24	林子平墓		青葉区字平町19-5	仙台市	S17. 7.21
25	遠見塚古墳		若林区遠見塚1丁目ほか	仙台市	S43.11. 8

番号	名 称	員数	所 在 地	所有者(管理者)	指定年月日
26	岩切城跡		宮城野区岩切字入山12か	仙台市 利府町	H 2. 4. 27 (S57. 8. 23)
記念物/名勝					
27	秋保人湯		太白区秋保町馬場字人湯地内	仙台市	S17. 3. 7
28	磐司		太白区秋保町大字馬場字磐石山地内	仙台市 奥林省(仙台管林署)	S20. 2. 22
記念物/天然記念物					
29	苦竹のイチゴ		宮城野区飯吉町一丁目	水野ちとせ(仙台市)	T15. 10. 20
30	朝鮮ウメ		巻林区古城二丁目	法務省(宮城税務署)	S17. 9. 19
31	青葉山		青葉区荒巻字青葉12番地の内	文部省(東北大学)	S47. 7. 31
32	鶴鳩		太白区秋保町馬場字馬場丘山	奥林省(仙台管林署)	S 9. 8. 9

2 《県指定文化財》

番号	名 称	員数	所 在 地	所有者(管理者)	指定年月日
有形文化財/建造物					
1	白山神社本殿	1棟	若林区木ノ下二丁目9-1	白山神社	S36. 3. 25
2	西訪神社本殿 附 神札12枚	1棟	青葉区上愛子宇宮下40	西訪神社	S38. 7. 2
3	東照宮手水舎 附 花崗岩造水盤	1棟	青葉区東照宮一丁目6-1	東照宮	S39. 9. 4
4	賀茂神社本殿 附 神札2枚	2棟	泉区古内字乱1	賀茂神社	S39. 9. 4
5	落合観音堂 附 神札1枚	1棟	太白区四郎丸字落合60	光西寺	S44. 8. 29
6	大崎八幡神社心鳥居	1点	青葉区八幡四丁目6-1	大崎八幡神社	S45. 10. 30
7	龜岡八幡神社石鳥居 附 烏帽子	1基	青葉区川内角岡町62	龜岡八幡神社	S45. 10. 30
8	宮城県知事公報正門(上山城門)	1棟	青葉区武蔵町5-43	宮城県	S46. 11. 9
9	陸奥国分寺裏庭園仁王門	1棟	若林区木ノ下二丁目8-1	陸奥国分寺	S50. 4. 30
10	旧仙台城被倉	1棟	宮城野区岩切三丁目16	日野正一	S53. 5. 2
有形文化財/器物					
11	松島瓦人宝鏡	1点	青葉区川内元支盒34-1	宮城県(美術館)	S48. 1. 16
12	松島瓦	1点	青葉区川内元支盒34-1	宮城県(美術館)	S48. 1. 16
13	宮城縣序門御鏡	1点	青葉区川内元支盒34-1	宮城県(美術館)	S48. 1. 16
14	津海覺泰畫図 附 津土彦海墨糸羅略計圖中著	1幅	若林区新寺二丁目10-12	成覚寺	S49. 4. 30
15	仙台城本丸大底閣壁面墨画	2枚	★青葉区川内三の丸跡	仙台市	H 5. 12. 24
有形文化財/彫刻					
16	木造十一神持立像	12幅	若林区木ノ下二丁目4-1	陸奥国分寺	S34. 8. 31
17	木造阿弥陀如来立像	1幅	泉区福岡字阿弥陀前23	坂根忠治	S46. 5. 18
18	木造觀音立像	1幅	若林区新寺二丁目10-12	成覚寺	S49. 4. 30
19	木造不動明王立像	1幅	若林区木ノ下二丁目4-1	陸奥国分寺	S50. 4. 30
20	木造毘沙門天立像	1幅	若林区木ノ下二丁目4-1	陸奥国分寺	S50. 4. 30
21	木造十一面觀音立像	1幅	泉区高森三丁目4-109	菊谷美津子	S51. 3. 29
22	木造阿彌陀如來立像	1幅	若林区新寺二丁目5-3	阿彌陀寺	S55. 5. 30
有形文化財/工芸品					
23	鐵刀	1口	青葉区中央二丁目3-24	本郷家一郎	S34. 8. 31
24	太刀	1口	太白区桜木町32-17	中川 高	S34. 8. 31
25	刀	1口	太白区楢井岸3-10	大竹左右吉	S34. 8. 31
26	刀	1口	青葉区大町二丁目9-13-704	佐藤人志	S34. 8. 31
27	刀	1口	太白区桜木町32-17	中川 高	S34. 8. 31
28	短刀	1口	太白区楢井岸3-10	大竹左右吉	S34. 8. 31

番号	名 称	員数	所 在 地	所有者(管理者)	指定年月日
29	網羅	1 口	泉区川の寺一丁目 3-1	阿波寺	S37. 6.28
30	網羅	1 口	青葉区東原 523-5	瑞風寺	S37. 6.28
無形文化財					
31	薪好仙台半技術		太白区荒町15-3	甲田毅郎	S51. 3.29
無形民俗文化財					
32	愛子の田植踊		青葉区下愛子	愛子の田植踊保存会	S35. 4.23
33	大倉の役人田植踊		青葉区大倉	大倉の役人田植踊保存会	S35. 4.23
34	新川の田耕踊		青葉区新川	新川の田耕踊保存会	S35. 4.23
35	平沢の田植踊		青葉区平沢	平沢の田植踊保存会	S35. 4.23
36	下食の田植踊		青葉区大倉	下食の田植踊保存会	S46. 8.3
37	大崎八幡神社の能神楽		青葉区八幡	大崎八幡神社の能神楽保存会	S47.10.11
38	野口鹿踊		太白区秋保町馬場	野口鹿踊保存会	S47.10.11
39	川前鹿踊・川前劍舞		青葉区芋沢	川前鹿踊・川前劍舞保存会	S48.11.6
40	福岡の東扇・お舞		泉区福岡	福岡東扇・お舞保存会	H 3. 8.30
41	鹿原の獺舞		太白区秋保町馬場	鹿原の獺舞保存会	H 3. 8.30
記念物 天然記念物					
42	東昌寺のマルムギヤ		青葉区青葉町 8-1	東昌寺	S30. 3.25

3 《市指定文化財》

番号	名 称	員数	所 在 地	所有者(管理者)	指定年月日
有形文化財・建造物					
1	喜光寺開山堂	1 棟	宮城野区燕沢一丁目 3-1	喜光寺	S43. 2.15
2	山第四通跡古舎	1 棟	宮城野区立輪一丁目 3-7	仙台市	S53. 6.16
3	旧伊達邸	1 棟	太白区茂庭手人麻田西143-3	仙台市	S58.12.1
4	火事守御門	1 棟	太白区茂ヶ崎四丁目	仙台市	S60. 9. 4
5	成寛寺山門(旧淨眼院豈正房門)	1 棟	若林区新塩三丁目10-12	成寛寺	S61.12.20
6	舟越寺山門	1 棟	青葉区新飯町12-1	舟越寺	S61.12.20
7	輪王寺山門	1 棟	青葉区北山一丁目6番街	輪王寺	S61.12.20
8	大満寺虚空藏堂 附 獅子1基	1 基	太白区山田四丁目17-1	大満寺	S62. 3.30
9	大願寺山門(旧万寿院豈正房門)	1 棟	青葉区新塩町7-1	大願寺	S62. 3.30
10	泰心院山門(旧仙台藩藩校泰賢堂正門)	1 棟	若林区南塩町100	泰心院	S62. 3.30
11	宇那瀬津社本殿 附 神札5枚	1 棟	青葉区宇那瀬明神12	宇那瀬神社	S47.12.27 (S48.11.20)
12	臨済院地内弁財天堂並びに堂地	1 棟	青葉区国見ヶ丘四丁目	千曲定勝社	S62. 9.11
13	小浦沢櫻	1 基	太白区秋保町馬場字駅	仙台市	S58. 8. 1
14	旧船谷家住宅	1 棟	泉区福岡字庄山9-5	仙台市	S61. 4. 1
15	石坂家住宅 附 千葉(木造) 1 棟	1 棟	宮城野区温町一丁目15-1	仙台市	H 6. 3.29
有形文化財・絵画					
16	紙本着色伊達政宗肖像 狩野興信筆	1 幅	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S44. 7.31
17	羽柴和歌屏風	2 幅	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S51. 7. 1
18	源義・百花見図屏風	6 幅 半裏	青葉区川内三の丸跡	大平 千枝子 佐々木 美知子	S51. 7. 1

番号	名 称	員数	所 在 地	所有者(管理者)	指定年月日
19	菅井物同木亭丁翠四	1幅	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S61. 7. 1
20	仙台城御本丸及二ノ丸御殿跡空庭 紙本着色要因(2面屏風) 紙本着色花木図 紙本着色松に山鳥図 東来洋筆	1双 6面 4面	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
21	仙台藩歴代藩主及夫人肖像画	31幅	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
22	「根本色」著昭女、牡丹、芙蓉図 伊達政宗所筆	3幅	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
23	紙本着色河内之図 東来洋筆	1幅	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
24	銅版画色彩刷しのマリア像	1面	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
有形文化財／彫刻					
25	木造駒頭加木坐像	1幅	青葉区北山一丁目14-1	輪王寺	S61. 7. 1
26	木造駒頭如意立像	1幅	青葉区荒町字御木裏山4	大徳寺	H 2. 3. 19
27	木造丹沙門天立像	1幅	青葉区荒町字御木裏山4	大徳寺	H 2. 3. 19
28	木造安國上人坐像	1幅	若林区十間一丁目11-16	真福寺	H 2. 3. 19
29	宝冠駒頭如意坐像	1幅	青葉区城見一丁目15-1	勝徳寺	H 2. 3. 19
有形文化財／工芸品					
30	銅造樂器十二神将像掛軸	1面	若林区木ノ下三丁目8-1	聖奥院分寺	S61. 7. 1
31	梵鏡	1枚	太白区内山一丁目4-1	大廣寺	S52. 3. 1
32	仙台藩歴代藩主所用良足	11幅	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
33	假想期 伊達政宗所用 白綾地電掛立淨瓶模様片衣 白綾地小袖 香半網地酒袋 紫羅青波紋五色木玉模様片衣 袴 大口袴 路襷唐草文柄に雀放入野袴 白綾地繪印金帶	1具 1領 1領 1幅 1束 1束 1束	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
34	孔雀羽羽根込立陣 伊達重村所用	1箇	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
35	糸村 仙台藩歴代藩主作 伊達政宗作2箇 伊達忠宗作2箇 伊達義輝作6箇 伊達綱村作7箇 伊達吉村作36箇 仙台藩主作7箇 (以上茶杓座箱入) 伊達忠宗作1箇	61箇	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
36	仙台城御本丸御殿金具 魚々子地御制御紋御釦 魚々子地御卓卓紋御釦	2箇	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
37	花鳥山水孔雀羽唐草紋波紋絞十才金琴 元禄貳己巳年右村近江守忠貞二月 吉日の銘がある 用 黒漆竹竹海鶴象鼻琴 1合	1箇	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
有形文化財／書籍					
38	夷岩神話墨跡二幅对	3幅	青葉区荒町字御木裏山4	大徳寺	S51. 7. 1
有形文化財／古文書					
39	印鑑 仙台藩歴代藩主所用	227 枚	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4

番号	名 称	員数	所 在 地	所有者(管理者)	指定年月日
40	伊達治家記録(仙台市博物館本)	696 冊	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
41	伊達世臣家譜及続編(仙台市博物館本)	268 冊	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
42	伊達出自正統世次考(仙台市博物館本) 伊達出自正統世次考卷 1冊 伊達出自正統世次考 9巻9冊 伊達正統世次考 10巻14冊 伊達山自正統世次考系図 1冊 附 諸代々考叢書 道佐生堂10冊	25冊	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
43	奥州仙古御絵図 「此御絵圖者、正保年中被上献御絵図四、元禄十年從公義御評價被成、御手被成御絵図を清書被仰付族御絵図也」の裏書きがある	1冊	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
44	林了平手筆亨本餘光類 附 六無齋遺跡 1冊	8枚	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
45	女倉文忠	一冊	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
有形文化財／考古資料					
46	伊達政宗墓所出土品 ・糸巻太刀身1口・糸巻太刀柄1箇・黒漆萬葉 絵文箱1合・青銅文鏡(文箱内容品)1点・ 墨(文箱内容品)1枚・黒漆白梅彌縫箱1合・ 梨地菊彌縫箱1合・黒漆鉄挽曲輪蓋合1合・梨 地彌縫箱1合・墨(硯箱内容品)1点・ 墨(硯箱内容品)1點・硯(硯箱内容品)1 面・水油(硯箱内容品)1点・梨地纏管簪1合 ・御首羅字(繩管路内容品)2点・梨地菊彌 縫印籠1具・皮袋1点・腰長一分金(皮袋内容 品)3枚・湧帝帯襷石(皮袋内容品)1点・金 製ゾーナ(皮袋内容品)1点・鍔工(皮袋紀 念)1点・漆製茶拂1点・門牌1点・手鏡2 点・雲母製茶板5枚・要紋金製茶板1枚・金具 一組・残久類一話	新	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
47	皮尖形十器 上ノ原遺跡出土	1箱	仙台市青葉区田分町二丁目 7-1	仙台市	H 6. 3. 29
48	伊吉田遺跡出土土偶	4箇	仙台市青葉区田分町三丁目 7-1	仙台市	H 6. 3. 29
49	ムノ内遺跡方形周壙墓出土上器	2箇	仙台市青葉区田分町三丁目 7-1	仙台市	H 6. 3. 29
有形文化財／歴史資料					
50	源天體	1個	★葉桜根ヶ岡公園1-1	仙台市	S45. 2. 23
51	象廢儀	1個	★葉桜根ヶ岡公園1-1	仙台市	S45. 2. 23
52	火珠瓶	2個	青葉区桜ヶ岡公園1-1	仙台市	S45. 2. 23
53	薬芥雑(村田本)	1冊	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S51. 7. 1
54	晴宗公采地下陽原	2冊	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S51. 7. 1
55	芭蕉句碑	1枚	若林区木ノ下二丁目70	仙臺園分寺	S51. 7. 1
56	大庭三千風供養碑	1基	若林区木ノ下二丁目70	仙臺園分寺	S51. 7. 1
57	芭蕉句碑	1枚	宮城野区櫻ヶ岡23	福岡天満宮	S52. 3. 1

番号	名 称	員数	所 在 地	所轄者(管轄者)	指定年月日
58	原町芳竹の道知るべ石	1基	宮城野区原町三丁目	仙台市	S32. 3. 1
59	瀬不動尊文永十一年板碑	1基	青葉区広瀬町 8 - 1	般町むつみ会	H 6. 3. 29
有形民俗文化財					
60	上原十三塚	13基	太白区坪沼字上前43番地のうち 1.425㎡の土地を含む	小池次郎	H 2. 3. 19
61	源賴政船沼前御駒馬	1面	太白区向山四丁目17 - 1	愛宕神社	H 4. 7. 7
62	牛若丸剣道修行因跡馬	1面	太白区向山四丁目17 - 1	愛宕神社	H 4. 7. 7
63	小村景白乗馬因跡馬	1面	太白区西郎丸字落合59	光西寺	H 4. 7. 7
64	雙馬因跡馬	1面	太白区四郎丸字落合59	光西寺	H 4. 7. 7
65	宇治川左岸因跡馬	1面	太白区四郎丸字落合59	光西寺	H 4. 7. 7
66	金剛板押出三益塔跡馬	1面	太白区西郎丸字落合59	光西寺	H 4. 7. 7
無形民俗文化財					
67	馬場愛宕神社神楽		太白区秋摩町馬場	馬場愛宕神社神楽保存会	S61. 8. 1
68	上谷刈の獅頭・剣舞		泉区古内	上谷刈の獅頭・剣舞保存会	S39. 10. 21
69	大沢の田植踊		泉区東ヶ丘	大沢の田植踊保存会	S62. 8. 1
70	傳流吉麻神楽		宮城野区岩切字吉麻沢	傳流吉麻神楽保存会	H 3.10. 1
71	生出森八幡伴舞		太白区荒町字ノ瀬西	生出森八幡神保存会	H 3.10. 1
史跡					
72	善応寺御穴火古墳群		宮城野区荒町一丁目	善応寺	S43. 2. 15
73	三沢初手の墓など		宮城野区櫻ヶ崎五丁目 4	仙台市	S47. 2. 1
74	刀工本郷園包各代の墓所		若林区新寺二丁目 7 - 33	善寺	S55. 10. 20
75	越ヶ峯伊達家墓所		青葉区豊臣下	仙台市役所	S59. 7. 21
76	西御跡		青葉区下愛子字船	沢口屋敷	S50. 12. 11
77	鶴六城跡		青葉区鶴六字庄子	安藤久郎邸	S50. 12. 11
78	萩氏院墓所		泉区長石字道 F	満義寺	S43. 3. 1
79	松森姫須岐跡		泉区南光台東二丁目35 - 8	仙台市	S62. 5. 1
天然記念物					
80	藍尾下セニセ類化木林		青葉区米坂一丁目、三丁目、藍尾下	宮城県	S48. 8. 6
81	大樹寺のヒヨクヒバ		青葉区大庭字樹木裏山 4	大樹寺	S52. 3. 1
82	椿(かんざし) 桜		青葉区下愛子字町25 - 1	庄子書齋	S61. 5. 30
83	ミズバシラウ		泉区福浦字岳山	仙台市	S40. 5. 12
84	藍食神社の神杉(雄杉)		泉区福浦字小山117	藍食神社	S60. 4. 25
85	貞茂神社のイロハモミジ		泉区古内字乳 1	貞茂神社	S60. 4. 25
86	賀茂神社のタラヨウ		泉区吉川字乳 1	賀茂神社	S60. 4. 25
87	賀茂神社のアラカン		泉区古内字乳 1	賀茂神社	S60. 4. 25

文化財調査員録

課長白鳥良一	主任佐藤洋	調査第二係
管理係	" 吉岡恭平	係長結城慎一
係長菅原澄雄	主事金森安孝	主任篠原信彦
主任村上道子	" 丁藤哲司	主任佐藤甲二
主任福井健司	" 主浜光朗	" 渡部弘美
" 庄司厚	" 斎野裕彦	" 丁藤信一郎
" 菅藤英治	" 長島榮一	" 荒井格
" 佐藤寿江	教諭佐藤好一	" 中富洋
	" 小川淳一	" 平間亮輔
	" 稲葉俊一	教諭太田昭夫
調査第一係	" 菅原裕樹	" 五十嵐康洋
係長田中則和	" 川名秀一	" 神皮浩志
主任木村浩二	" 熊谷裕行	" 赤澤靖章
		" 竹田幸司

仙台市文化財調査報告書刊行目録

- 第 1集 天然記念物笠置下セコイア化石林調査報告書（昭和39年4月）
- 第 2集 仙台城（昭和42年3月）
- 第 3集 仙台市燕浜寺跡古墳群調査報告書（昭和43年3月）
- 第 4集 史跡陸奥田分尼寺跡発掘調査並びに調査報告書（昭和44年3月）
- 第 5集 仙台市南小泉法隆院古墳調査報告書（昭和47年8月）
- 第 6集 仙台市荒巣五本松跡発掘調査報告書（昭和48年10月）
- 第 7集 仙台市宮沢坂古墳発掘調査報告書（昭和49年3月）
- 第 8集 仙台市向山愛宕山横穴群発掘調査報告書（昭和49年5月）
- 第 9集 仙台市根岸町宗泽寺横穴群発掘調査報告書（昭和51年3月）
- 第 10集 仙台市中田町安久東遺跡発掘調査概報（昭和51年3月）
- 第 11集 史跡遠見塚古墳環境整備工事調査概報（昭和51年3月）
- 第 12集 史跡遠見塚古墳環境整備第二次子飼溝査概報（昭和52年3月）
- 第 13集 南小泉遺跡－翁西種認調査報告書一（昭和53年3月）
- 第 14集 采泥跡発掘調査報告書（昭和54年3月）
- 第 15集 史跡遠見塚古墳昭和53年度発掘整備工事調査概報（昭和54年3月）
- 第 16集 六反田遺跡発掘調査（第2・3次）のあらまし（昭和54年3月）
- 第 17集 北星散遺跡（昭和54年3月）
- 第 18集 桜江遺跡発掘調査報告書（昭和55年3月）
- 第 19集 仙台市地下鉄関係分布調査報告書（昭和55年3月）

- 第 20集 史跡遺見塚古墳昭和54年度環境整備予備調査概報（昭和55年3月）
- 第 21集 仙台市開発拠点調査報告書I（昭和55年3月）
- 第 22集 稲ヶ峰（昭和55年3月）
- 第 23集 年報1（昭和55年3月）
- 第 24集 今泉城跡発掘調査報告書（昭和55年8月）
- 第 25集 三神坐遺跡発掘調査報告書（昭和55年12月）
- 第 26集 史跡遠見塚古墳昭和55年度環境整備予備調査概報（昭和56年3月）
- 第 27集 史跡陸奥國分寺跡史跡昭和55年度発掘調査概報（昭和56年3月）
- 第 28集 年報2（昭和56年3月）
- 第 29集 郡山遺跡I－昭和55年度発掘調査概報（昭和56年3月）
- 第 30集 山田上ノ台遺跡発掘調査概報（昭和56年3月）
- 第 31集 仙台市開発拠点調査報告書II（昭和56年3月）
- 第 32集 鴻ノ巣遺跡発掘調査報告書（昭和56年3月）
- 第 33集 山口遺跡発掘調査報告書（昭和56年3月）
- 第 34集 六反田遺跡発掘調査報告書（昭和56年12月）
- 第 35集 南小泉遺跡－都市計画街路建設工事関係第1次調査報告（昭和57年3月）
- 第 36集 北斎遺跡発掘調査報告書（昭和57年3月）
- 第 37集 仙台平野の遺跡群I－昭和57年度発掘調査報告書（昭和57年3月）
- 第 38集 蔦山遺跡II－昭和56年度発掘調査概報（昭和57年3月）
- 第 39集 鶴舞遺跡発掘調査報告書（昭和57年3月）
- 第 40集 仙台市高速鉄道関係新設金城川（昭和57年3月）
- 第 41集 年報3（昭和57年3月）
- 第 42集 郡山遺跡－宅地造成に伴う緊急発掘調査（昭和57年3月）
- 第 43集 梅森跡（昭和57年8月）
- 第 44集 鴻ノ巣遺跡発掘調査報告書（昭和57年12月）
- 第 45集 府民－瓦庭住宅地区造成工事地内遺跡発掘調査報告書（昭和58年3月）
- 第 46集 郡山遺跡III－昭和57年度発掘調査概報（昭和58年3月）
- 第 47集 仙台平野の遺跡群II－昭和57年度発掘調査報告書（昭和58年3月）
- 第 48集 史跡遠見塚古墳昭和57年度環境整備予備調査概報（昭和58年3月）
- 第 49集 仙台市文化財分布調査報告1（昭和58年3月）
- 第 50集 若切畠中遠跡発掘調査報告書（昭和58年3月）
- 第 51集 仙台市文化財分布地図（昭和58年3月）
- 第 52集 南小泉遺跡－都市計画西街路建設工事関係第2次調査報告（昭和58年3月）
- 第 53集 中田畠中遠跡発掘調査報告書（昭和58年3月）
- 第 54集 神明社廻跡発掘調査報告書（昭和58年3月）
- 第 55集 南小泉遺跡－青葉女子学園移転新営工事地内調査報告（昭和58年3月）
- 第 56集 仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報II（昭和58年3月）
- 第 57集 年報4（昭和58年3月）
- 第 58集 今泉城跡（昭和58年3月）
- 第 59集 下ノ内浦遺跡（昭和58年3月）
- 第 60集 南小泉遺跡－自転車便に伴う緊急発掘調査報告書（昭和58年3月）
- 第 61集 山口遺跡II－仙台市体育館建設予定地（昭和59年2月）
- 第 62集 高沢遺跡（昭和59年3月）
- 第 63集 史跡陸奥國分寺跡昭和58年度発掘調査概報（昭和59年3月）
- 第 64集 郡山遺跡IV－昭和58年度発掘調査概報（昭和59年3月）
- 第 65集 仙台平野の遺跡群III－昭和58年度発掘調査報告書（昭和59年3月）
- 第 66集 年報5（昭和59年3月）
- 第 67集 富田水田遺跡－第1冊－米崎前地区（昭和59年3月）
- 第 68集 南小泉遺跡－都市計画西街路建設工事関係第3次調査報告（昭和59年3月）
- 第 69集 仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報III（昭和59年3月）
- 第 70集 戸ノ内遺跡発掘調査報告書（昭和59年3月）
- 第 71集 後河原遺跡（昭和59年3月）
- 第 72集 六反田遺跡II（昭和59年3月）
- 第 73集 仙台市文化財分布調査報告書II（昭和59年3月）
- 第 74集 郡山遺跡V－昭和59年度発掘調査概報（昭和60年3月）
- 第 75集 仙台平野の遺跡群V－昭和59年度発掘調査報告書（昭和60年3月）
- 第 76集 仙台城三ノ丸跡発掘調査報告書（昭和60年3月）
- 第 77集 山田上ノ台遺跡－昭和59年度発掘調査報告書（昭和60年3月）

- 第 78集 中田畠中遺跡－第 2 次発掘調査報告書－（昭和60年 3月）
第 79集 欠ノ上 I 遺跡発掘調査報告書（昭和60年 3月）
第 80集 南小泉遺跡－第12次発掘調査報告書（昭和60年 3月）
第 81集 南小泉遺跡－第13次発掘調査報告書－（昭和60年 3月）
第 82集 仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報IV（昭和60年 3月）
第 83集 年報 6（昭和60年 3月）
第 84集 仙台市文化財分布調査報告書III（昭和60年 3月）
第 85集 宮城県仙台市愛宕山装飾横穴古墳発掘調査報告書（昭和60年 8月）
第 86集 郡山遺跡V－昭和60年度発掘調査概報－（昭和61年 3月）
第 87集 仙台平野の遺跡群V－昭和60年度発掘調査報告書－（昭和61年 3月）
第 88集 上野遺跡発掘調査報告書（昭和61年 3月）
第 89集 仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報V（昭和61年 3月）
第 90集 若林城跡－平安時代の東洛跡－（昭和61年 3月）
第 91集 東北電力鉄塔関係遺跡調査報告書（昭和61年 3月）
第 92集 五城中北岸跡発掘調査報告書（昭和61年 3月）
第 93集 仙台市文化財分布調査報告書VI（昭和61年 3月）
第 94集 年報 7（昭和61年 3月）
第 95集 柳生（昭和62年 3月）
第 96集 郡山遺跡VI－昭和61年度発掘調査概報－（昭和62年 3月）
第 97集 仙台平野の遺跡群VI－昭和61年度発掘調査報告書－（昭和62年 3月）
第 98集 富沢遺跡（昭和62年 3月）
第 99集 五本松塙跡発掘調査報告書（昭和62年 3月）
第100集 山川上ノ台発掘調査報告書（昭和62年 3月）
第101集 仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報VI（昭和62年 3月）
第102集 六反田遺跡発掘調査報告書（昭和62年 3月）
第103集 元袋丘遺跡発掘調査報告書（昭和62年 3月）
第104集 富沢遺跡 東北地方建設局長町宿舎建設工事に伴う発掘調査報告書－（昭和62年 3月）
第105集 北前道遺跡発掘調査報告書（昭和62年 3月）
第106集 仙台市文化財分布調査報告書V（昭和62年 3月）
第107集 年報 8（昭和62年 3月）
第108集 春日丘古墳・鳥居塙古墳発掘調査報告書（昭和62年 8月）
第109集 南小泉遺跡－第14次発掘調査報告書（昭和62年 11月）
第110集 郡山遺跡VII－昭和62年度発掘調査概報－（昭和63年 3月）
第111集 仙台平野の遺跡群VII－昭和62年度発掘調査報告書－（昭和63年 3月）
第112集 東光寺遺跡発掘調査報告書（昭和63年 3月）
第113集 富沢遺跡第24次調査報告書（昭和63年 3月）
第114集 富沢遺跡第28次調査報告書（昭和63年 3月）
第115集 下ノ内前遺跡発掘調査報告書（昭和63年 3月）
第116集 燕沢遺跡（昭和63年 3月）
第117集 富沢遺跡第33次発掘調査報告書（昭和63年 3月）
第118集 富沢遺跡第34次発掘調査報告書（昭和63年 3月）
第119集 泉崎遺跡発掘調査報告書（昭和63年 3月）
第120集 鶴ヶ丘＝タウン閣遺跡調査報告書（昭和63年 3月）
第121集 仙台市文化財分布調査報告書VII（昭和63年 3月）
第122集 年報 9（昭和63年 3月）
第123集 鴻ノ巣遺跡（平成元年 3月）
第124集 郡山遺跡X－昭和63年度発掘調査概報－（平成元年 3月）
第125集 仙台平野の遺跡群VIII－昭和63年度発掘調査報告書－（平成元年 3月）
第126集 仙台市高速鉄道関係遺跡発掘調査報告書I（平成元年 3月）
第127集 上野遺跡－電力鉄塔関係発掘調査報告書（平成元年 3月）
第128集 富沢・泉崎沿・山口遺跡－36～48次・4次・5～8次（平成元年 3月）
第129集 北前道跡第3次発掘調査報告書（平成元年 3月）
第130集 茂ヶ崎横穴墓群（平成元年 3月）
第131集 南小泉遺跡－第15次発掘調査報告書－（平成元年 3月）
第132集 年報 10（平成元年 3月）
第133集 郡山遺跡X－平成元年度発掘調査概報－（平成 2年 3月）
第134集 仙台平野の遺跡群IX－平成元年度発掘調査報告書－（平成 2年 3月）
第135集 富沢・山川I遺跡(2)・富沢遺跡50～56次・山口遺跡10～12次－（平成 2年 3月）

- 第136集 仙台市高速鉄道関係遺跡発掘調査報告書Ⅱ（平成2年3月）
- 第137集 茂庭けんとう城・東船頭発掘調査報告書（平成2年3月）
- 第138集 人野山古墳群発掘調査報告書（平成2年3月）
- 第139集 赤牛津遺跡発掘調査報告書（平成2年3月）
- 第140集 南小泉遺跡－第16～18次発掘調査報告書（平成2年3月）
- 第141集 南小泉遺跡－第19次発掘調査報告書（平成2年3月）
- 第142集 東光寺・青葉山A・富沢遺跡（平成2年3月）
- 第143集 年報11（平成2年3月）
- 第144集 仙台城址の自然（平成2年3月）
- 第145集 郡山遺跡－第84次・85次発掘調査報告書－（平成2年6月）
- 第146集 郡山遺跡Ⅰ－平成2次発掘調査概報－（平成3年3月）
- 第147集 仙台平野の遺跡群X－平成2年度発掘調査報告書－（平成3年3月）
- 第148集 潟ノ巣遺跡第6次調査報告書（平成3年3月）
- 第149集 富沢遺跡－第30次調査報告書第1分冊－織文・近世編－（平成3年3月）
- 第150集 富沢遺跡第35次発掘調査報告書（平成3年3月）
- 第151集 山口遺跡（平成3年3月）
- 第152集 富沢遺跡・泉崎浦・山口遺跡(3)（平成3年3月）
- 第153集 南小泉遺跡第20次発掘調査報告書（平成3年3月）
- 第154集 燐杵遺跡第4・5・6次発掘調査報告書（平成3年3月）
- 第155集 年報12（平成3年3月）
- 第156集 郡山遺跡－65次発掘調査報告書（平成4年3月）
- 第157集 杉上手・北前遺跡発掘調査報告書（平成4年3月）
- 第158集 町田遺跡発掘調査報告書（平成4年3月）
- 第159集 神棚遺跡発掘調査報告書（平成4年3月）
- 第160集 富沢遺跡30次発掘調査報告書第2分冊－旧石器編－（平成4年3月）
- 第161集 郡山遺跡Ⅱ－平成3年度発掘調査概報－（平成4年3月）
- 第162集 仙台平野の遺跡群Ⅱ－平成3年度発掘調査報告書－（平成4年3月）
- 第163集 富沢遺跡・泉崎浦・山口遺跡(4)－70次～79次・下ノ内遺跡第5次発掘調査報告書（平成4年3月）
- 第164集 南小泉遺跡－21次発掘調査報告書（平成4年3月）
- 第165集 手十内遺跡発掘調査報告書（平成4年3月）
- 第166集 沼遺跡発掘調査報告書（平成4年3月）
- 第167集 年報13（平成4年3月）
- 第168集 人蓮寺墓跡発掘調査報告書（平成5年3月）
- 第169集 郡山遺跡Ⅲ－平成4年度発掘調査報告書－（平成5年3月）
- 第170集 仙台平野の遺跡群Ⅲ－平成4年度発掘調査報告書－（平成5年3月）
- 第171集 富沢・泉崎浦・山口遺跡(5)－第78・80～85次発掘調査報告書（平成5年3月）
- 第172集 富沢・泉崎浦・山口遺跡(6)－第57・58・63・66・69次発掘調査報告書（平成5年3月）
- 第173集 下ノ内浦遺跡第5次発掘調査報告書（平成5年3月）
- 第174集 安久東遺跡第3次発掘調査報告書（平成5年3月）
- 第175集 洞雲寺遺跡発掘調査報告書（平成5年3月）
- 第176集 年報14（平成5年3月）
- 第177集 郡山遺跡－第94次発掘調査報告書－（平成6年3月）
- 第178集 郡山遺跡Ⅳ－平成5年度発掘調査概報－（平成6年3月）
- 第179集 仙台平野の遺跡群Ⅳ－平成5年度発掘調査報告書－（平成6年3月）
- 第180集 人倉地区遺跡範囲確認調査報告書（平成6年3月）
- 第181集 北原街道B遺跡発掘調査報告書（平成6年3月）
- 第182集 小田南遺跡発掘調査報告書（平成6年3月）
- 第183集 仙台東殊朱里跡発掘調査報告書（平成6年3月）
- 第184集 富沢・泉崎浦・山口遺跡(7)－富沢遺跡第87次発掘調査報告書（平成6年3月）
- 第185集 今泉遺跡発掘調査報告書（平成6年3月）
- 第186集 明和北遺跡発掘調査報告書（平成6年3月）
- 第187集 愛宕山横穴墓群発掘調査報告書（平成6年3月）
- 第188集 元袋遺跡第2次発掘調査報告書（平成6年3月）
- 第189集 年報15（平成6年3月）

仙台市文化財報告書第189集

平成 5 年 度
年 報 15

平成 6 年 3 月

発行 仙 台 市 教 育 委 員 会

仙台市青葉区国分町3-7-1

仙台市教育委員会文化財課

印刷 株式会社 共 新 精 版 印 刷

仙台宮城野区日の出町2 4-2

TEL 236-7181

